

令和6年度第1回三重県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和6年11月19日(火) 14:00～15:30

場所：三重労働局 地下会議室

【議事】

(1) 令和5年度公的職業訓練実績について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局から資料に沿って令和5年度の公共職業訓練及び求職者支援訓練の受講者数や就職者数等の実施状況について説明。

(2) 公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング結果等について

労働局から公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング結果等について説明。

<検証対象分野>

- ・介護・医療・福祉分野

<ヒアリング対象>

- ・訓練実施機関（3機関）
- ・訓練受講修了者（10名）
- ・訓練受講者採用企業（10社）

<ヒアリングにより把握した要望・改善点に対する主な取組案>

- ・利用者との関係構築向上のため、接し方に関するカリキュラムの改善を訓練校と検討
- ・訓練希望者等に対する訓練校説明会の機会を増やし、内容も簡単な介護体験を実施する等工夫を凝らし、介護のことについてより理解が深まりやすい機会を構築する

(3) その他職業能力の開発促進の向上に資する取組等について

労働局から各種人材開発に係る支援策について説明。キャリア形成・リスキリング推進事業についても実施内容の案内を行った。

その他、構成員から実施しているリカレント教育に関する報告があり、構成員間で共有した。

(4) 令和7年度三重県職業訓練実施計画の策定方針について

全体的な方針として、労働局から以下を提案。

- ・応募倍率が低い分野について、コース日程の調整や受講希望者への説明会の機会を増加する等の受講勧奨を強化し、受講者を確保する
- ・就職率が低い分野について、訓練修了者歓迎求人確保や訓練受講前から受講修了後に至るまでの一貫した丁寧な個別支援を実施する
- ・求職者支援訓練（基礎コース）の計画数と実績が乖離していることについて、引き続き確実なコース設定を行うこと及び受講が有効と思われる求職者を中心に受講者確保に努める
- ・デジタル系の訓練コースが不足していることについて、次年度においても計画に沿って複数のコースを設定し、応募倍率や就職率向上のため、訓練校によるハローワーク職員向けの説明会の開催等でコース理解を進め受講希望者に適切な案内を行い、デジタル系訓練受講者が応募しやすい求人確保に努める

また、各訓練について独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局から方針案を提案。訓練実施規模等についての説明を行った。

(5) 教育訓練給付制度による訓練機会の確保等について

労働局から教育訓練給付制度の概要、三重県における指定講座や支給状況について説明。

【主なご意見・提案】

- 人手不足は深刻な状況と感じている企業が多い。採用活動強化のために職業訓練を含めいろいろ活用して採用が増えればよいと感じている。
- 人手不足のみではなく人材不足でもあり、質・量ともに労働力が不足していると感じている。そのような中で職業訓練の果たす役割は大きいと思う。単に受講率が低いことのみをもって縮小するのではなく、必要とされる人材が育ち、活躍していけるような制度運用を望む。
- 就職以外の理由で中退する受講者も一定数いるため、中退者を減らすことも大事ではないか。
- ヒアリング報告にもあったが、離職者に訓練の説明の機会を増やすことは大事だと思う。セミナー等のあらゆる機会を捉えてもっと周知を展開してほしい。

- 令和7年度三重県職業訓練実施計画の策定方針案については提案のとおり承認された。
- 教育訓練給付制度の講座拡大に関しては特段の要望等はなかった。